

OB会 だより

挑戦シリーズ
No.40



定年後の人生

新しい道に挑戦し、輝いている仲間がたくさんいる

その一人 石原 由紀子さん

観劇を楽しんでいた側から、演じてみたくなりこの道に挑戦。

「しんしやく源氏物語」で、主役“姫”を演じています。

お芝居を習い始めて 4 年、川口市にアトリエを持つ「劇団キンダースペース」のシニアワークショップに参加しています。お芝居は、自分でない人生を演じられるのが素敵です。

お芝居をやる人は、夢があるし、すごいエネルギーがあるし、ピュアなんです。

私は今回 4 回目の発表会ですが、初めて着物やカツラを付け、言葉も違うなど四苦八苦、ブスで不器用で、ただひたすら源氏を待つ姫が可愛想なのか、可愛いのか 微妙な気持ちになりながらのお稽古でした。 年 1 回の発表会・・・ 照明も、音響も、舞台も、いっばしの役者気取りで ドキドキしながら楽しんでいます。

(石原由紀子さんは埼玉協同病院に看護師として勤務しました)



新入会員紹介

★ 高橋 勉さん ★

2019年6月に生協歯科を定年退職しました。

現在はパート勤務で、9年ぶりに協同病院の放射線科に戻り、勤務させていただいています。私も体力維持、健康のため、またマラソン大会にエントリーできるように走り始めています。

OB会だよりを見て先輩方が元気に楽しく活動している様子を拝見していました。仲間入りさせていただきます。よろしくお願いいたします。

私の近況

★ 松本 トシ子さん ★

地域の老人会に参加し忙しく飛びまわっています。コーラスを楽しんだり、ボランティアで差間小学校の通学路のクリーン作戦などを行ったり、9月末には、川口市リリアで「スコップ三味線」で演奏しました。また、11月29日は大宮ソニックで全国老人クラブ大会があり、紙で作った和服を着、行列でサンバを踊るので練習しています。

★ 三浦 むつ子さん ★

牧野植物同好会、シダ観察会、ハングル学習、絵画クラブなど趣味の会などに参加しています。何も無い時は読書とか、ビデオとか見て過ごしています。学術関係は抜けてしまっています。OB会にはずっと不参加が続いていますが、他の学習会とか、スキーとか重なることが多く、仕事は完全に退職してしまったのですが出られない状況です。また日程が合えば皆さんにお会いしたいと思います。

★ 鹿又 雅子さん ★

10月27日は千葉合唱団第20回演奏会です。練習に力が入ります。夫の介護が始まって6年目になります。多くの皆さんの温かい支援があって、私の趣味もできています。OB会だより編集をされている皆さん、いつもありがとうございます。

★ 生沼 信恵さん ★

次女の出産で急遽北海道から中野にお手伝いにきましたので、埼玉の家から通っています。父は民医連（北海道）の施設でお世話になっています。来春まで契約があるので落ち着いたらまた北海道に戻ります。



★ 山形 文子さん ★

昨年庭の梅の木の実をとって梅干しづくりをはじめました。

昨年は1kgにもならない量でしたし、はじめてで手探り状態でした。今年は実がたくさんとれて（豊作？）梅干しでは多すぎて、しょうゆ漬けや、シロップ煮にしたりして大変でした。さんしょうの実もゆでて冷凍したりと、今までやってこなかったことにチャレンジしています。

★ 宮谷 忠さん ★

ご無沙汰しています。おかげ様で元気になっています。
最近シベリア帰りのお年寄りに出会いました。



シベリアの 冬きせぬ話 蝉しぐれ

★ 金井 東望子さん ★

70歳を過ぎると坂道を転げるように体力が落ちると長野に住む義姉が言っていました。我が家の相棒も数年前からふらつきがあり、主治医の勧めでスポーツジムに行ってましたが1年余りで見放され、介護保険で要支援1に認定されリハビリに週1回通うようになりました。私も認知症予備軍ですが週1～2回 45分の体操教室じゃ間に合わない、筋力を付けなければと、9月からカーブスに通い始めました。室内は冷房で寒い、あちこち筋肉痛だと言いながら、夫が動けなくなる前に脂肪肉から筋肉への変換をと体力作りに勤しんでいます。それにしても今年の夏は暑かった。ものぐさな私は日中外に出るのをさぼり、小さな鉢を何個も枯らしてしまいました。もうすぐ冷房の季節じゃなくなる、そうしたら気分転換に映画でも見に行こうと思っています。

★ 梅原 恭子さん ★

我が家のお隣りは私より8歳若いが一人暮らしの女性。
夫とは幼馴染で今でも「ちゃん」と呼び合う関係。



新聞を一紙も取っていないというので、同じ乳癌仲間という事もあり
乳癌情報は切り抜いて届けていた。我が家は毎日の新聞は2紙、週刊紙は4紙。新聞読むのに1日のエネルギーというより起きている時間の1/5をかけている。毎週木曜日は週1回の新聞（機関紙）がまとめて届く日なので、まるで青虫がバリバリと青葉を食べるみたいに必至に宿題をこなす如くに読みあさって新聞収納ボックスに片づけていく。

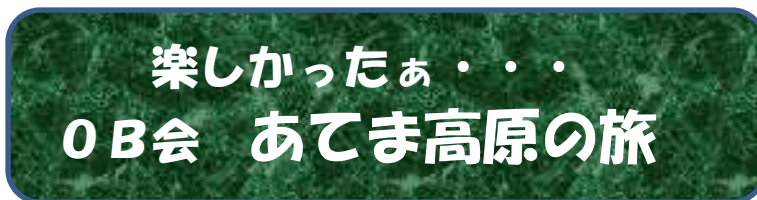
今まで医療情報を極たまに切り抜いて渡していたのを「梅原切りぬぎ新聞」として手製の大型封筒を作り、硬軟取り混ぜ新聞として発行することにした。不定期、無料、購読中止随時OKで隣の郵便受けへ。翌日には彼女の達者な文字で数行の感想が書かれたメモと空となった封筒が戻ってくる。そのことを嫁に話したら「今のこの時代に?!」と驚かれたが「でも切りぬいてくれたと思うとやっぱり普段読まない記事でも読むよね」と。

わが家の4紙入っている週刊新聞の一紙をそのうちすすめようなんて野心は毛頭ありません。ただ親切心と私の学習のためです。始めてから4か月、まだ購読中止の依頼は入っていません。それとも断りにくいただけかな ー。

★ 渋谷 菊男さん ★

8月末、西部地区Bブロックの社保の日でした。毎年歌声のコーナーを依頼され今年で4回目です。昨年は所診元職の吉原さん、島崎さん、渋谷と現職の平田さんが参加、山口さん

は主催者でした。今年はもう少し広めたいと、山口さん、仲さん、岡部さんの元職6人、現職1人の7人が参加。組合員さん、患者さんもととても喜んでくれ、笑顔いっぱい「懐かしいー」などの声が聴かれます。私たちも元気になります。11月17日は「健康まつり」。ここにはさらに元職員に声かけ広げながら参加したいと思います。みんな「所診大好き職員」が多いので楽しみです。歌はやっぱりいいなあー、みんなが手をつなぎ合えるなあーと思っています。



OB会秋の旅は9月11～12日、新潟県十日町にある「あてま高原」へ。リゾート・ベルナティオに一泊、魚野川の鮎、やな場の見学や塩焼きにかぶりついたり、ひろーい自然の中に囲まれての楽しい旅になりました。参加者は18名、初参加2人の感想です。

加入から4年 初参加の私 次回の催しも期待しています

加藤 たい子

おりしも台風で新潟方面は悪天候の予定。時折、車窓を雨粒が濡らす中、関越高速道塩沢石内インターを降りると、黄金色の田んぼが拡がり更に登って行くと、広大な高原リゾート施設が姿を現しました!! こんな山の中にこんな施設があるのかと思う広い芝生、イングリッシュガーデンを想わず花々の庭……。程よい静かな温泉にゆったり浸ることができました。

翌日は、魚野川のアユやな場見学とワイナリーの雪室貯蔵を見学。前日の雨で魚野川のひろ～い川幅を水は滔々と流れ築場からは青空の下、越後三山のひとつ、八海山(1773m)がくっきりと見えました。アユの塩焼きやへぎそばなど、新潟のグルメを味わった旅でもありました。ホテルの人の話では、新潟米の塩むすびをぜひ食べてほしかったとのこと。バイキングでパンを食べた私は、地方に行ったら まずとくに何がおすすめなのか聞くとよいのだなあと痛感しました。参加した方からは、3時間ほどで行けるし、ツアー内容も豊富で ホテルもきれい!! 満喫できたとの声、4年前に退職者の会に加入後、バス旅行に初参加の私。まったく知らなかった方とも交流でき参加して良かったです。ぜひ次回の催しも期待したい。企画、運営の皆様 ありがとうございました。



広大な自然に囲まれ、盛りだくさんのバイキング、
何より仲間の笑顔と元気な声、楽しい旅でした。

良く食べ、ゆっくりでき、さらに廉価で お得です！

菅野いく子

先輩に誘われて初めて参加しました。新都心に8時集合、何故新都心？ 新幹線大宮じゃないの？ と思ったらホテルのバスが迎えに来ました。川越で西部方面の方々が集まり18名の参加でした。ホテルは山の方へ登り、木々を抜けると広く開かれたところにあり、周囲は広々とした芝生と池、花々が咲き開放的なゆったりとしたところです。到着して間もなく雨になり外には出ず、お風呂と夕食タイム、食事はバイキングですが、種類、量ともに豊富でお腹いっぱい、飲んで食べて満足でした。

翌朝 庭を散歩すると、良く手入れされた芝・草花に感心しました。（後でネット帽をかぶった沢山の女性が手入れしていました）利用する人に気持ちよく過ごしてもらうために手を抜かない“おもてなし”に感心です。朝食後、ワンコインツアーで、ワイナリー、ジェラート工房、魚野川の鮎！ やな場などに行き、これがワンコインです。すごい！ やな場では鮎の塩焼きをいただきました。やや小ぶりながら美味しかった。ホテルに戻り、昼食後は一路埼玉へ。良く食べ、ゆっくりでき、また、とても廉価（1,000円の返金もあり）な旅で、退職者にはうれしい旅です。皆さん！ お得ですので参加した方が良いと思います。次回を楽しみに待っています。お世話くださった役員の方々、ありがとうございました。

また楽しい企画をお願いします。



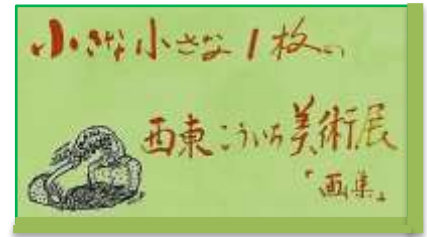


2019年 私の夏

厳しい暑さの続いた 2019 年の夏でしたが、楽しんだり、頑張ったり、感動したり等々 たくさんの体験がありましたね。4人の思い出をご紹介します。

画集を出版

「小さな 小さな一枚の 西東こういち美術展」 齊藤 幸一



「毎年楽しみにしています」「齊藤さんの年賀状から、病気に負けられない！と思うようになりました」「一枚のハガキから、私も故郷の山や川に思いをめぐらせています」等々。嬉しい言葉をたくさんいただく中で、故郷「山形県もがみ」への思いを託した年賀状「小さな小さな一枚の西東こういち美術展」は 41 年となりました。

これを機に、2019 年夏「画集」として出版することができました。何もわからずの出版作業は悪戦苦闘の連続でしたが、出版にあたってメッセージをいただいた高石光雄先生、山田昌樹先生、表紙文字を書いてくださった富田孝博さん、印刷屋さんのご厚意などにより、画集として皆さんにお届けできたことを大変うれしく思っています。画集と言えば聞こえは良いのですが、今 私にできる精いっぱいにとりくみです。ご鑑賞いただければ大変うれしく思います。

今、私の右手は長年の疲労からか震えがあり悲鳴をあげています。縦書き文字は書くことができず、横書き文字も上にとゆらゆら。定規を使いながら書いています。そんなことから不十分な部分が多々ありますこと、ご容赦ください。



平和を願いながら 読んだり 見たり !!

水野 いわ子

夏の間、体調を崩し横になったり、本を読んだりしていました。読んだ本はこの時期なので、「ぼく生きたかった」「この子を残して」「白い町ヒロシマ」、肥田先生の「ヒロシマの消えた日」「死にすぎた赤ん坊」「内部被爆の脅威」「被爆医師のヒロシマ」「ヒロシマを生きのびて」「今どうしても伝えておきたいこと」、「おこりじぞう」「かわいそうなぞう」等々。

戦後 7~8 年経った頃、日教組の人たちが 500 円カンパを募り、映画「ひろしま」を作った。広島市民の全面的協力の下で、エキストラ 88,000 人が参加、広島出身の月丘夢路はノーギャラで出演。最近見直され上映されているが、9 日深夜にNHKが放送したので見ました。皆さんにおすすめです。



広島の基町高校美術部の生徒さんが、被爆者の話を聞き絵画として後世に残していくという番組もありました。埼玉県内にも展示されたようですが私は見逃してしまいました。昨年末にOB会の木内さん（しらすぎ会副会長）他に東京の二世の人たちと広島に行きフィールドワークしてきました。この基町高校にも行き担任の先生の話、原画数点を見ていましたのでつらくなりましたが、「絵」というものが訴えてくるすごさを知りました。

映画2編

「誰がために憲法はある」「新聞記者」を観て

神作 信男

今年の夏2つの映画を観ました。「誰がために憲法はある」と「新聞記者」で、2つとも夫婦で観にいきました。「誰がために憲法はある」は、毎日午前1本のみ

の上映なので雨にもかかわらず大変並びました。主役の「憲法くん」を演ずるのは86歳の女優の渡辺美佐子さんで、その演技は圧巻でした。「姓は日本国、名は憲法」で始まり、憲法前文から第103条までの全文を語ります。役者とはいえ、これだけの量を暗記するのは大変だと思いました。しかも86歳です。渡辺さんは、原爆朗読劇を33年間続けてきているとのこと。その原爆朗読劇に協力してくれている方々も高齢となり、今年で終わるとのことです。憲法を、そして原爆を訴える圧巻の映画でした。終了後、渡辺美佐子さんと監督の井上淳一さんと近くの席でお会いできたので写真をパチリ。

「新聞記者」は、今話題の作品です。東京新聞の社会部の記者で、官邸記者会見で鋭い質問をして脚光を浴び、菅官房長官に手をあげても「次の方」と無視されている望月衣塑子記者の著書が原案の映画です。まさに、今の忖度政治そのものを暴いています。医療系大学の新設にかかわる匿名ファックスとそれを解明しようとする新聞社、それにかかわる動きを封じ込めようとする政権側。「これ、公安に調べるように」と指示して対策をとる内閣情報調査室。あらためて日本のCIAである内閣情報調査室の実態とその実働部隊である公安調査庁の果たしている役割が浮き彫りになっています。政権維持のための世論コントロールとマスコミ、忖度政治の実態をつきつけ、考えさせる映画です。



伊吹山へGo!

たくさんの“初めて”を経験

仲村 敬子

猫が一番で植物にはあまり関心のない私、でも「夏の伊吹山は高山植物の宝庫、焼鯖ソーメン、鮎ずし等の郷土料理、梅花藻」というお誘いをみて俄然参加する気に。7月30日、新婦人お出かけ小組の仲間たちと、東浦和駅に6名集合、7時33分のひかりで米原へ。



伊吹山は西登山道コースを休みながらゆっくり登り、シモツケソウ、アカソ、クガイソウ、ミヤマコアザミ、メタカラコウなど教えていただき、標高 1,377mの山頂へ。一陣の涼風、そして山頂で食べた冷たいきゅうり、トマトに味噌と塩をつけての丸かじり、絶品でした！琵琶湖に面した国民宿舎「豊公荘」で一泊。琵琶湖は広く静かでした。

翌日近江八幡を散策。午後は醒ヶ井駅から徒歩で地藏川へ。きれいな水に梅花藻がいっぱい。暑さも忘れ思わず「わあー」と嘆声があがります。私は伊吹山、琵琶湖、梅花藻、郷土料理みんな初めて、たくさんの初めてを経験した夏の旅でした。



梅花藻



訃報

木村輝一さんが 8月13日に亡くなりました。享年77歳
木村さんは1969年 所沢診療所に入職、埼玉西協同病院・上福岡協同診療所・埼玉協同病院に、事務職として勤務しました。OB会からは心ばかりの気持ちをお送りしました。奥様からお礼のご挨拶をいただき、「皆様に宜しくお伝えください」との事です。



木村 輝一さんを偲んで

山口 昭子

9月9日木村さんの近況を聞こうと北海道の自宅に電話をした。奥さんが「8月の13日に亡くなったのよ」と。平成24年10月脳出血で入院、手術。平成29年9月、二度目の入院・手術となったが、その頃は奥さんとは時々電話でのやりとりはしていた。まさか、自宅に帰ることもなく亡くなったとは・・・知らなかった。どんなにか悔しかったかと思う。「彼は若い時、肺結核を患ったことがあった。入院中、よく肺炎をおこしていた」と奥さんの話です。

木村さんが所沢診療所に入職したのは、私より半年遅かったと記憶している。その頃の診療所は、熊久保先生を中心に、患者も多く、若い職員が次々と入り、活気に満ち溢れていた。群馬大学や、日大、杏林大学などからも先生がみえ、川崎先生、伊藤誠子先生の小児科もあり、事務当直もあった。木村さんは、子どもが好きで、名前や顔をたくさん覚えては、笑顔で声をかけ子どもたちにも好かれていた。また、彼は明るく、いつもみんなを笑わせ、楽しませてくれる人だった。しかし自分の子どもさんに障害があることは職場では話したことがなかったように思うが・・・辛い、大変、などの話はきいたことがなかったです。

埼玉協同病院で定年を迎えたが、所沢診療所で一緒に働いた仲間達と送別会をやった。今思うともっとしっかりやってあげればよかった、もっと話もしておけば・・・色々足りなかったなあ、等々思う。木村さんは最後までやさしい奥さんに支えられ、自分の思った事も充分できた一生だったのではと思う。奥さんに感謝ですよ！ 木村さん !!

木村さんは北海道釧路の生まれ、定年後は奥さんの生まれた札幌にマンションを購入、転居していった。奥さんは「職場の人たちが理解もあり、息子が病院に行くのに休みも取れ、良いところに勤めていてよかった」と。お墓は札幌に息子さんと一緒だということです。

木村さんが教えてくれたこと

仲 隆子

木村さんが亡くなったと聞いてびっくりしています。

絶対に、みんなのあれこれを見て、聞いて、最後に自分らしく、みんなに みんなのことを説明して“聞かせて” 誰にも知らせずに逝ってしまう人と思ひこんでいました。

本をたくさん読んでいた人でした。それも話題になっているものばかりでなく、歴史物やいろいろにわたって初版本と言われている物でした。

もう20年も前になりますが、所沢診療所に入職した時、「趣味は？」と聞かれ、うっかり「読書です」と答えた時、本の傾向と月に何冊読むのか、読んだあと何が自分に残ったのか、いろいろ聞かれて、そのあと私自身がすごく恥ずかしくなったことが思い出されます。見かけで人を判断してはいけないことを教えてくれた人でした。

ご冥福をお祈りいたします。



木村さん！

北海道で元気にお会いしたのに

岡部 和子

所診に入職した頃、子育てで大変だった私は、木村さんから「タコのハッチャン」と呼ばれ、からかわれながらも、何時もホットさせてくれました。長男の航(わたる)ちゃんが誕生しましたが、心配が絶えなかったようで、夫婦で可愛いがって育てていましたね。

2011年8月、娘と北海道旅行をしました。レンタカーを借りての楽しい旅行、近くにお住まいだった木村さんと連絡を取り、一人で会いに行き、思いがけなく家に招いてくださり、久しぶりに奥さんとも会い楽しいひと時を過ごしました。明るく街づくり活動にも参加されている様でした。本当にお世話になりました。あの時、奥さんと一緒に写した写真、OB会だよりで皆さんに紹介しますね。人情家の木村さんの御冥福をお祈り致します。



命をつなぐ 無料低額診療事業

まわりに医療が必要な方 いませんか？

医療が必要であるにもかかわらず、経済的な理由から医療費の支払いが困難な方に対し、無料または低額で診療する制度「無料低額診療事業」があります。埼玉民医連の事業所では、医療・歯科・老健の全事業所で利用できます。事例集「いのちと向き合う私たち」も発行されています。「OB会のみなさんが、地域でこの制度を必要とする方がいらっしゃるか、周りを見渡していただき、事業所につなげてください」高橋正巳県連事務局長からのメッセージです。

おおみや診療所では

ここ数年、無料低額診療についての相談を月に2～3件くらい受けるようになりました。年齢層では30～60代の方が9割方で、働きたいけれど体の調子が良くないという訴えがほとんどです。ネットで検索してくることも多く、比較的若年層なのはその表れであり、近隣の高齢者に貧困層が無いわけではないと考えています。

事例を挙げてみると、30代Aさん：重度のリウマチだが働けなくてほとんど治療されていないために変形し、まっすぐ歩けないような状態で自宅から歩いて診療所受診。その後は送迎しながら、法人MSWの手を借りて入院・手術へ。生活保護取得にもつながりました。40代Bさん：やっと来週から仕事が決まったが、腹痛がひどくて診療所に突然来院し、虫垂炎の診断ですぐ入院手術となるなど急性期診断もありました。

診療所では専門の相談員はいません。「無料低額診療希望したい」と電話するハードルを、やっと超えてきた方へどんな受け答えが必要か？受付の事務が第一報をまず受け取り、どうつながりかが大事になります。そして無料低額診療対象の方の情報を朝会やカンファレンスで共有し職員全員で見守ることも大事にしています。(事務長 原田芳子)

行田協立診療所(歯科)では

鈴木重雄さん(仮名)は67歳、数年前に母親が施設に入所したため一人暮らしである。高卒後、父母との生活が居心地よく一緒に過ごしているうち婚期を逃した。ところが父親が他界し、要介護3の母親の面倒を看ながら暮らすことになってしまった。それでも、父の残した遺族年金を合わせれば5万円の家賃を払っても何とか生活は出来ていた。

外食チェーンの給仕の仕事をしていたが、店舗整理のため退職を余儀なくされ、貯金を切り

崩しての生活になる。やっと自身の年金が支給されるようになったものの、今度は要介護5となった母親の施設入所で生活が厳しくなる。S市福祉事務所の自立支援事業で求職活動を始めるが、車の免許もなく技能もないので見つからない。就業支援のなかで5年以上も義歯の不具合を放置、滑舌も悪く口臭もひどく栄養状態も悪化していることが判明。福祉課で医療費の相談をするが年金が13万円弱あったため生保受給には至らなかった。

そこで、電車で30分以上離れた当診に無料低額診療適用の依頼があり、健康状態の改善と義歯の調整を行うことになった。歯科での無料低額診療事業所は県内には少なく、今回S市からの紹介となった。国民年金の受給者からみれば恵まれていると思える重雄さんだが、家賃や光熱費、その他の公共料金を払うといくらも手元に残らず医療が抜けてしまう現実がある。特に自堕落な生活ということでもなく普通に生活を送っていても困難に陥るといふ現代社会の縮図をみる思いだ。「無料低額診療があって助かった」と本人談である。

(行田協立診療所相談員 猪股 浩)

埼玉協同病院では

埼玉協同病院には、他の病院で対応を断られてしまう方が救急搬送されたり、医療費を支払えないという方が来院されます。最近では外国人の対応も増えています。

日々SWが医師・看護師・事務等や、行政や他機関の職員と協力・連携をしながら、「金がなくても患者が医療にかかれるように」と奮闘しています。18年度1年では新規で6000件の相談対応をし、その内の464件が経済的な相談で、無料低額診療事業の相談は80件。すんなりと解決するケースはほとんどなく、日々悩みながら対応をしています。最近あった事例を紹介します。



Aさんは糖尿病とヘルニアによる腰痛で非正規雇用の仕事を続けていましたが、医療費に回すお金がなく、「民医連の病院に頼るよう」紹介され受診。無料低額診療事業を適用し、受診につなぐとともに、生活保護申請をし、治療に専念することを勧めました。最初の数ヶ月は「生活保護には頼りたくない。自分で働いて何とかする」と頑張っていました。仕事をしながらの治療は不定期になりがちで、体調は改善しません。結果、生活保護を申請し治療に専念する事になりました。現在治療継続中で、体調は徐々に改善傾向です。

別の事例では、国保の一部負担免除の申請（国保44条）を行い、川口市初の一部負担金免除の認定が受けられるようになった事例もありました。これまで川口市では、国保44条の適応となるのは『災害などの特別な理由により』減収となったことが条件であるとし、相談をしても受け付けてもらえませんでした。しかし、毎年の自治体キャラバンにて、国保44条を利用しやすくし、経済的事由による手遅れ死亡が生じないようにという申し入れを10年継続し

て行ってきたことが、今回の結果につながったのではないかと思います。また、制度の周知の部分では、川口市の国保パンフレットやホームページに国保一部負担金減免制度のことが掲載されたりと改善も見られています。

今後も無料低額診療事業を入り口に「市民の命と健康を守るために」という姿勢で、権利としての社会保障制度が適切に利用出来るようにすることと、制度の拡充についても訴えていきたいと思います。 埼玉協同病院 医療社会事業課 竹本耕造

2019年法人方針を中心に 学習懇談会 開きました



7月29日、老健みぬま談話室をお借りして、医療生協さいたま 2018 年度活動の特徴、2019 年度基本方針を齊藤民紀専務からお話をいただきました。民医連職員の参議院選挙への

取り組みについては、“ゼロから学びあっていこう”と模擬投票や、“選挙に行こう”アピールを出すなどいろいろな取り組みがありました。一人ひとりの持つ「困った」や「願い」に応える活動、



組合員と地域の期待に応えられる力を高める課題、また埼玉協同病院のリニューアルと「在宅療養支援病院」建設、各事業所の移転新築計画などの方針を聞き、現役職員や組合員さんの奮闘をうれしく思いながら、時代が変ってきているんだなあ・・・ということを感じました。

第34回埼玉県原爆死没者慰霊式

石丸 乾二

今年の慰霊式は、7月28日、浦和コミュニティ多目的ホールで開催されました。田中会長は「慰霊のことば」で、被爆者が核兵器禁止条約の採択に果たした役割を語り、「日本政府が条約に署名・批准しないことは悲しむべき態度」と指摘。同条約をすべての国が結ぶよう「ヒバクシャ国際署名」



を国の内外で大きく広げると誓いました。今回は2018年度に亡くなった県内被爆者88名を含む1,617名を祭壇に奉納しました。参列者は260名でした。

埼玉平和美術展 OB会員も多数出展

「核兵器廃絶、平和の壁に花一輪を」テーマに埼玉平和美術展が、県立近代美術館で開催されました。県内から113人が出展し、会場は絵画、写真、書、彫刻、工芸など330点を超える作品が展示されました。わがOB会からは9人・19点の出展です。



岡部和子



鈴木むつ子



富田孝博



佐藤優子



岡村真理子

初出展 しました

三浦 むつ子

油絵は40年ほど前に与野の公民館で始めました。一年ほど指導を受け何とか書けるようになりましたが、川診の仕事が忙しくなり中断しました。20年後、元職員の石井さん（故人）をお願いして再開しましたが転勤などでまた中断。今年完全に退職して常盤公民館の絵画クラブに入ったばかりでした。まだ2~3枚やっと描いたところで小品しかなく、いかにも不十分な状態勧められるままに恥ずかしながら出展しました。

平和美術展の作品としてはテーマ性がないのですが、登山の道具とびわの実の静物画ですので、果物が豊かに実り、趣味の登山ができたり、何でもない世界が何でもなく続けられるのはまさに平和そのものと解釈し出しました。

会場の作品は多彩で震災直後の福島や沖縄の様子を描いていたり、直接平和を訴えかけてくる重いテーマを取り上げたものも多く見受けられました。公民館で指導していただいている根岸先生も力作を出品されており、嬉しく拝見しました。

全体に明るい色彩で描かれている作品が多く、私の作品はとても暗いと思いました。先生にも暗くなりやすいと指摘を受けていましたし、色使いとか筆の使い方とか工夫が必要だと思いました。まだまだ学ぶところがたくさんあります。小品から出発していずれ大作にも手が届けばいいなと思います。案内ハガキで見に来てくれた知人もいましたし、来年は参加したいと言ってくれ輪が広がったように思います。

残暑厳しい8月18日(日)、昨年に引き続き第53回平和美術展を鑑賞しました。油絵、水彩画、墨絵、書、写真、絵手紙など多彩な作品が出展されていました。当日は合評会もあり、OB会の人達にも親しく接する機会となりました。作品制作過程での苦労話をうかがったり、納得いくまでの熱意をうかがう中で、再度鑑賞すると出展作品の深みを味わうことができました。また、書の作品コーナーでは冨田会長が助言担当もされ、美術展に大きく貢献されている様子も拝見しました。平和を強く願う想いを、平和であればこそ、表現できる自由を考えさせてくれる有意義な美術展でした。



3.11以後 節電生活を継続



広瀬 久子

会報が届いて「楽しや、うれしや」と読み進んでいると猛暑到来。数日で食欲・意欲・体力の低下。熱中症の始まり？ 3・11後、実は節電生活の継続。心を入れかえてエアコン生活を開始。設定は28度。快適だ！ 涼しい時は切る。料理中は扇風機を近くに寄せ、洋菓子用の保冷剤をハンカチに包んで額に当てて熱をとる。味噌汁、季節の野菜を食べて、猛暑・残暑を乗り切ろう。爽やかな秋には活力をもらえる自然、慣れ親しんだ自然の中を楽しみながら歩きたい。



- * 毎回楽しみにしています。定年後も地域とのつながりを大切に、元気に活動しているOBの皆さんの顔・・・ 近況報告などからパワーをもらっています。
- * 「OB会だより」を見るたびに、OB、OGの皆さんの頑張りが埼玉の民主的な運動の歴史と努力の積み上げた力量に尊敬の念をいただきます。支部の取り組みとして佐藤優子さんの活も行われていることを知り驚くとともに誇らしく思いました。伊藤岳さんの当選に奮闘された皆さん！ お疲れさま そしてありがとうございました。
- * 田添さんの前進座の記事、内容がよく伝わってきたし、写真もよかったです。大久保さんの記事との組み合わせもいいですね。今後の公演予定を知らせていただけると嬉しいです。
- * 草加市の「ふれあいセンター新田」の記事は、地域での活動の参考になるし、役立ちます。川嶋さんの社保協の記事と組み合わせると少し勉強します。社保協の活動については、OB会だよりで時々知らせてください。

晩夏～初秋を楽しむ
私の作品



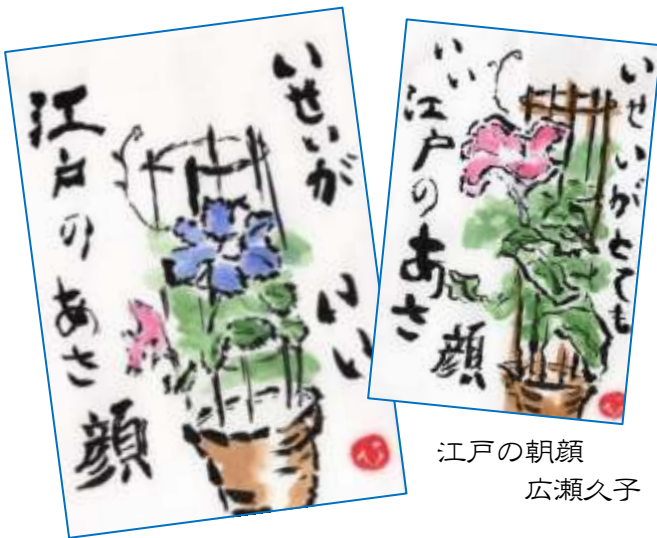
秩父・荒川の曼珠沙華 山本康男



上尾・原市沼のはす
石丸乾二



庭の彼岸花 小田政満



江戸の朝顔
広瀬久子



黄色やオレンジの花が
まぶしいほど きれい! 小川祥江



秋田県：田んぼアート
秋田犬と地元マスコット「いせどうくん」
海老塚利明

ゴウヤの願い 広瀬久子



秋の代々木公園 岡村和夫

子規の名句
やっぱり 秋は柿
書とちぎり絵
仲村敬子



葉っぱも 秋の装い 富田厚子

ホームページ ご覧くださいネ!

埼玉民医連退職者の会

[http://jet-daiana.bitter.](http://jet-daiana.bitter)



あとがき

たくさんの投稿ありがとうございました。今号は 16 ページです。
10 月に入っても 30 度を超える日があり、ススキや彼岸花の開花も、赤とんぼの初見も平年より遅いと。秋はどこへ? 「国連気候対策サミット」でスウェーデンの 16 歳の少女が注目を集めている。「楽しくカッコよくセクシーに・・・」などと無責任な日本の環境大臣に怒りながらも、私にできることから一歩を! 電気・水・マイバックなど、やることはいくらでも・・・日本の美しい四季を守るために。災害から命を守るために。(よ)

埼玉民医連退職者の会 〒333-1111 川口市木曾呂 1347 老健みぬま内